

(1) 事業の 趣旨・概要	- 指定居宅介護支援事業所等にケアプランの提出を求め、又は訪問調査を行って、市町職員等の第三者が点検を行うことにより、個々の受給者が真に必要なサービスの確保とその状態に適合していないサービス提供の改善を行う。点検後は、介護支援専門員の「気づき」を促すとともに、「自立支援に資するケアマネジメント」の実践に向けた取組の支援を目指し、改善すべき事項の伝達等を行う。 - サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホーム等の高齢者向け住まいでは、事業者本位のサービスが提供される場合があるため、これらの入居者に焦点を当てたケアプラン点検も行う。 - 地域ケア会議は、医療・介護の多職種が協働してケアマネジメント支援を行っており、地域における自立支援に向けた適正なケアプラン作成の推進が期待できることから、積極的に活用を図る。
---------------------	--

(2) 実施の 内容・方法	・ 主任介護支援専門員と協力して新規ケアプランの全数を点検し、介護支援専門員の能力向上を図る。高齢者向け住まい等のケアプランについては、入居者に焦点を当てた点検を行う。 ・ 研修会等への案内を行い、全介護支援専門員がケアプランチェックの目的を理解するとともに、指摘事項や注意点に対する意識付けを行う。 ・ ケアプラン分析システムを活用し、事業所や個々の介護支援専門員の作成傾向を分析し、運営指導等で確認や助言を行う。 ・ 毎月多職種が集まって困難事例について検討し、ケアマネジメント支援を行っていく。		
	点検担当職員数	1人	職種別内訳：保健師
	点検業務委託の有無	有 委託先：自市内の主任介護支援専門員13人	

(3) 目標と実績

① ケアプラン点検

点検件数			点検件数のうち 高齢者向け住まいに係る件数		
目標	実績(上半期)	実績(年間)	目標	実績(上半期)	実績(年間)
500	174	321	15	3	4

② 介護支援専門員への伝達等

面談、文書等による伝達・指導件数		
目標	実績(上半期)	実績(年間)
500	174	321

③ 地域ケア会議の活用

地域ケア会議においてケアプランの 検討、見直し等を行った件数	実績(上半期)	実績(年間)
	6	12

(4) 評価指標

① 第1号被保険者1人あたり介護給付費

[介護保険事業状況報告(年報又は月報)データより算定]

R3年度	→伸び率	R4年度	→伸び率	R5年度
281,326円	0.27%	282,094円	4.36%	294,381円

② 介護給付適正化支援事業報告書(国保連) [R6年12月審査分]

	坂出市	県平均		坂出市	県平均
居宅介護利用者数	1,259人	—	限度額に対する計画率(加重平均)	63.98%	59.38%
平均要介護度(加重平均)	1.99	2.25	1人あたりサービス種類数(加重平均)	2.17	2.03
介護支援専門員1人あたり担当人数(実績)	27.57人	27.98人			

(5) 検証と 自己評価	- 新規ケアプランや高齢者向け住まい等のケアプランを主任介護支援専門員等が点検し、点検後全数を介護支援専門員へ伝達することができた。 - ケアプラン点検を実施する主任介護支援専門員らと協議し、点検様式の見直しを行った。これまでの点検における課題やポイントを考慮し見直しを行うことで、点検者同士が共通認識を持ち新たな視点で取り組むことができた。 - ケアプラン分析システムを活用し、事業所や個々の介護支援専門員の作成傾向を分析し、運営指導等で確認や助言を行った。 - 毎月多職種が集まって困難事例について検討し、ケアマネジメント支援を行った。
--------------------	---

(6) 今後の進め 方・課題	- 対象プラン数は微減しているため、ケアプラン点検の重要性を周知しプラン提出を促すとともに、点検後は介護支援専門員のモチベーションの向上に考慮した伝達を行う。 - 坂出市居宅介護支援事業者連絡会において、保険者より年間のケアプラン点検の結果や課題となっている点の情報提供を行うだけでなく、改めて適切なケアプランやケアプランの立案方法に関する研修会を実施し、全体を通してケアマネジャー自身の「気づき」を促す。 - 毎月地域ケア会議を開催し、介護支援専門員へフィードバックするとともに、必要に応じて個別ケースからの課題から地域における課題を発見・抽出していく。
----------------------	--